

令和 8 年度第 2 回岩手県大規模事業評価専門委員会

現地調査資料

■ 日 時

令和 8 年 7 月 7 日（火） 14:55～15:45

■ 内 容

令和 8 年度大規模公共事業事前評価に係る現地調査

■ 調査開始予定時刻及び調査対象事業

調査開始時刻	現地調査対象事業
14 : 55	一般国道 281 号小屋瀬道路地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型）

■ 資料一覧

資料 No. 1 現地調査行程表

資料 No. 2 現地調査箇所位置図

資料 No. 3 現地調査説明資料

資料 No. 4 事前評価調書の修正に係る資料（新旧対照表及び修正前後の評価調書）

参考資料 令和 8 年度第 1 回大規模事業評価専門委員会の審議概要

岩手県大規模事業評価専門委員会委員名簿(五十音順)

氏 名	職	専門分野	備 考
岩間 妙子	一般社団法人岩手県建築士会	建築	
島田 悦作	岩手県立大学総合政策学部 准教授	財政学 農業経済学 環境経済学	
菅原 常彦	公益社団法人日本技術士会 東北本部岩手県支部	建設	
杉田 早苗	岩手大学農学部 准教授	都市・地域計画 コミュニティデザイン	
濱上 邦彦	岩手大学農学部 准教授	農業土木 水工学	副専門委員長
松木 佐和子	岩手大学農学部 准教授	森林 環境	
八重樫 健太郎	日本公認会計士協会 東北会岩手県会	企業会計	
山本 英和	岩手大学理工学部 准教授	地震工学 物理探査工学 自然災害科学	専門委員長

(敬称略)

令和8年度第2回岩手県大規模事業評価専門委員会 現地調査行程表

○開催日: 令和8年7月7日(火)
○対象事業
一般国道281号 小屋瀬道路 地域連携道路整備事業(ネットワーク形成型) <葛巻町>

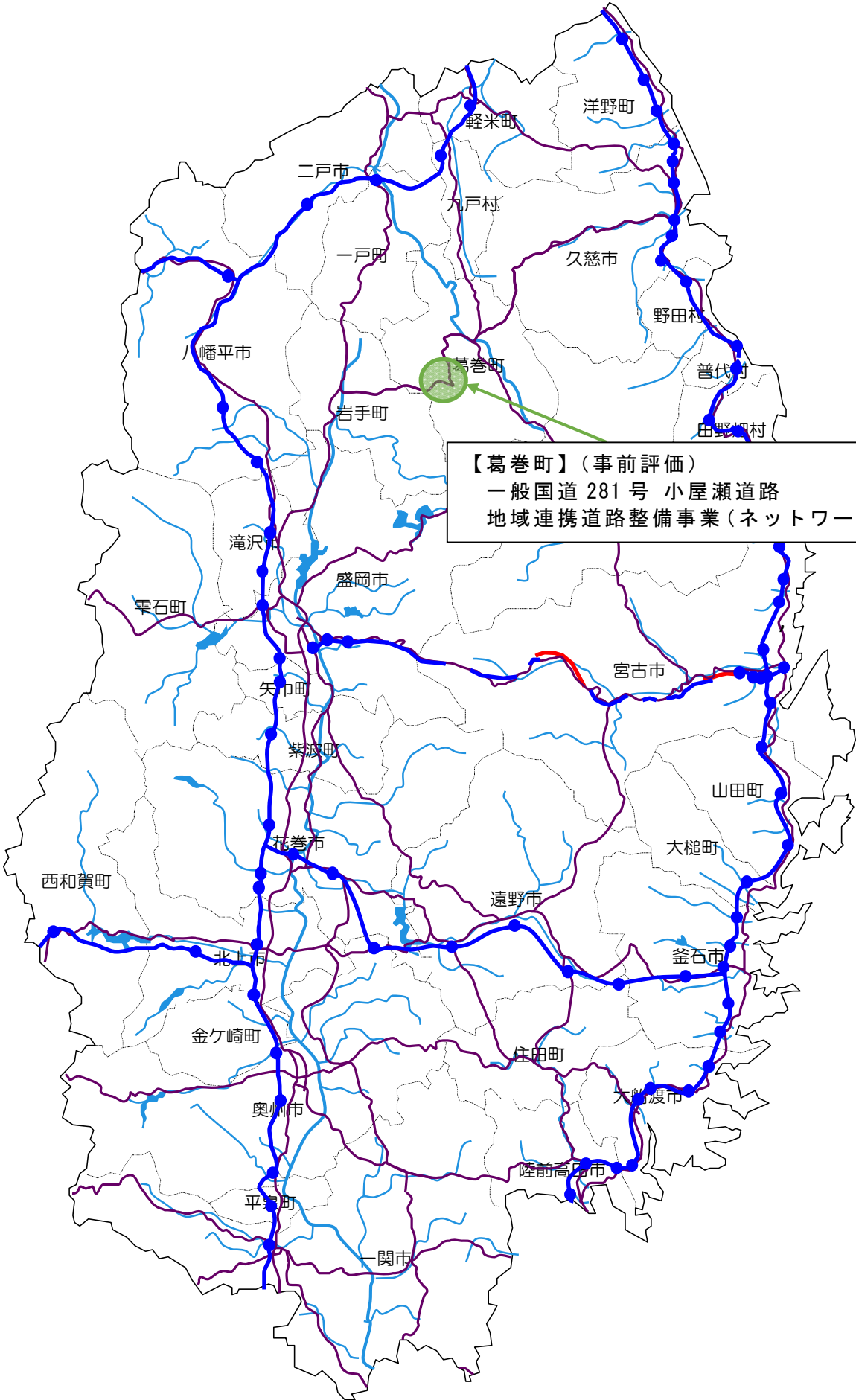
○行程

		移動時間		移動時間		移動時間	
		0:10		1:25		1:25	
始		着	13:25	着	14:55	着	17:10
県庁		盛岡駅		葛巻町		盛岡駅	
正面玄関前				現地調査			
出発		(西口(マリオス前 1階ロータリー))		小屋瀬道路		(西口(マリオス前 1階ロータリー))	
		※道の駅くずまき高原で 10分休憩		※道の駅石神の丘で10 分休憩			
発	13:15	発	13:30	発	15:45	発	17:15

		着	17:25
移動時間		県庁	
0:10			
		帰庁	
		発	

◎時間は現時点での目安であり、交通状況等により変更になる場合があります。

令和 8 年度大規模事業評価地区 位置図



令和8年度第2回
岩手県大規模事業評価専門委員会
現地調査説明資料

資料No. 3

地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型）
一般国道281号 小屋瀬道路

令和8年7月7日
県土整備部 道路建設課

事業概要①

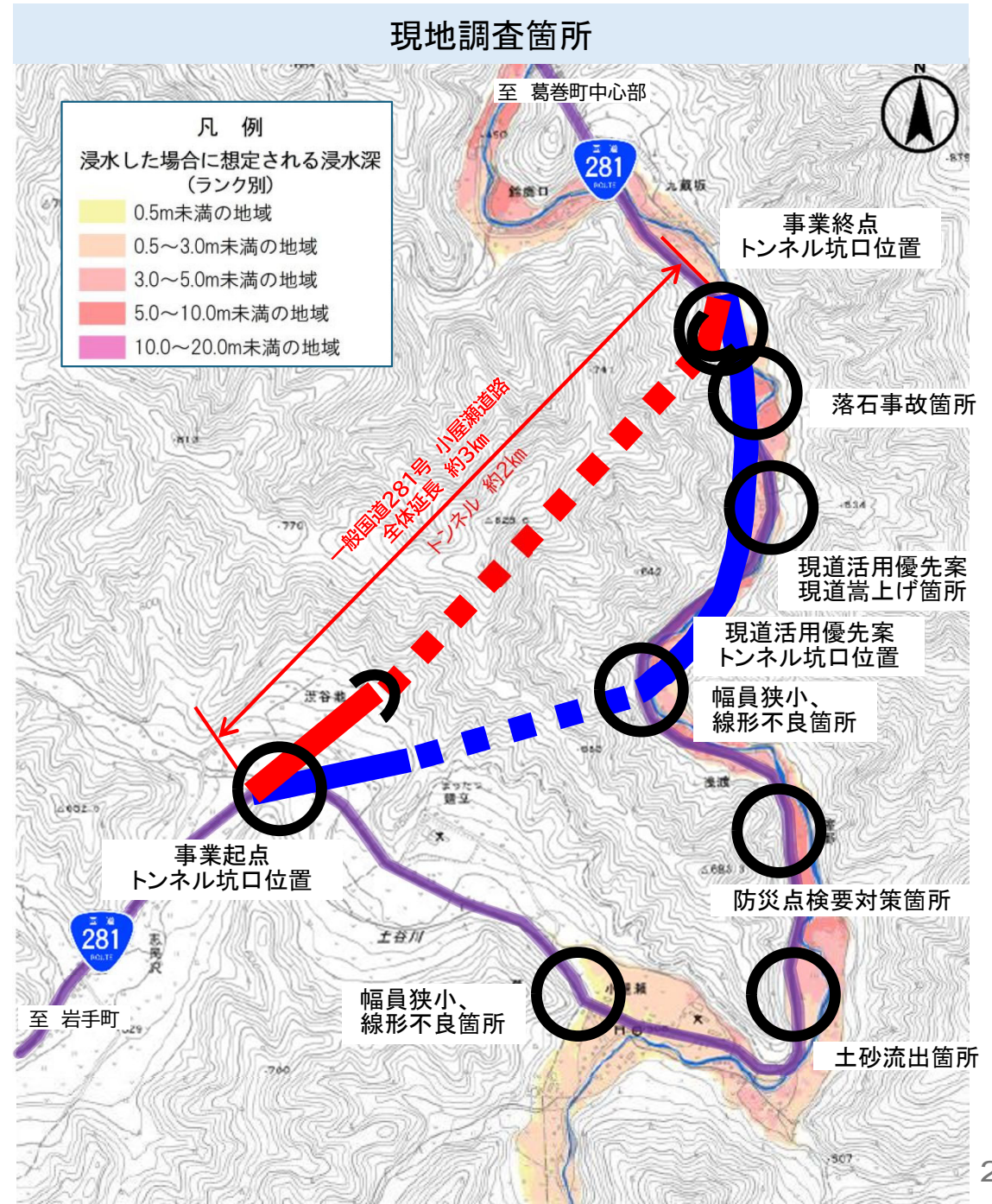
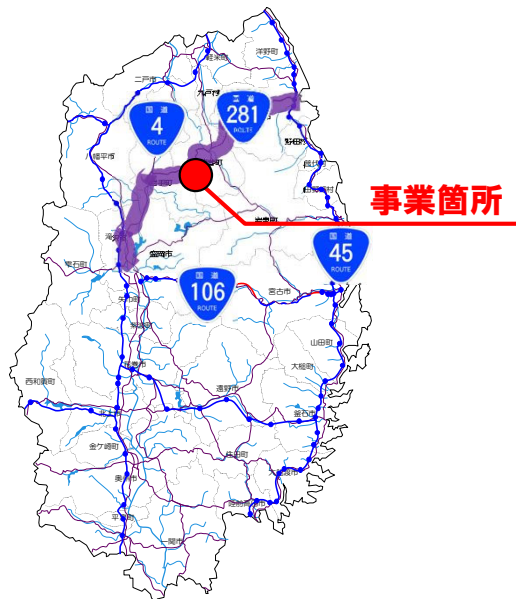
【路線概要】

一般国道281号は、盛岡市を起点とし久慈市に至る主要な幹線道路であり、沿線地域の住民の生活はもとより、物流や防災、地域間交流等において重要な役割を担っている。

- 重要港湾久慈港と盛岡市を結ぶ物流路線
- 第三次救急医療施設への搬送ルート
- 災害時に支援拠点間を結ぶ緊急輸送道路

【道路現況】

幅員狭小や線形不良箇所が多数存在するほか、大部分が一級河川山形川の浸水想定区域となっており、防災点検要対策箇所が存在するなど、安全で円滑な交通の支障となっている。



事業概要②(起点部)



【トンネル坑口】 起点側のトンネル坑口

令和7年4月24日撮影

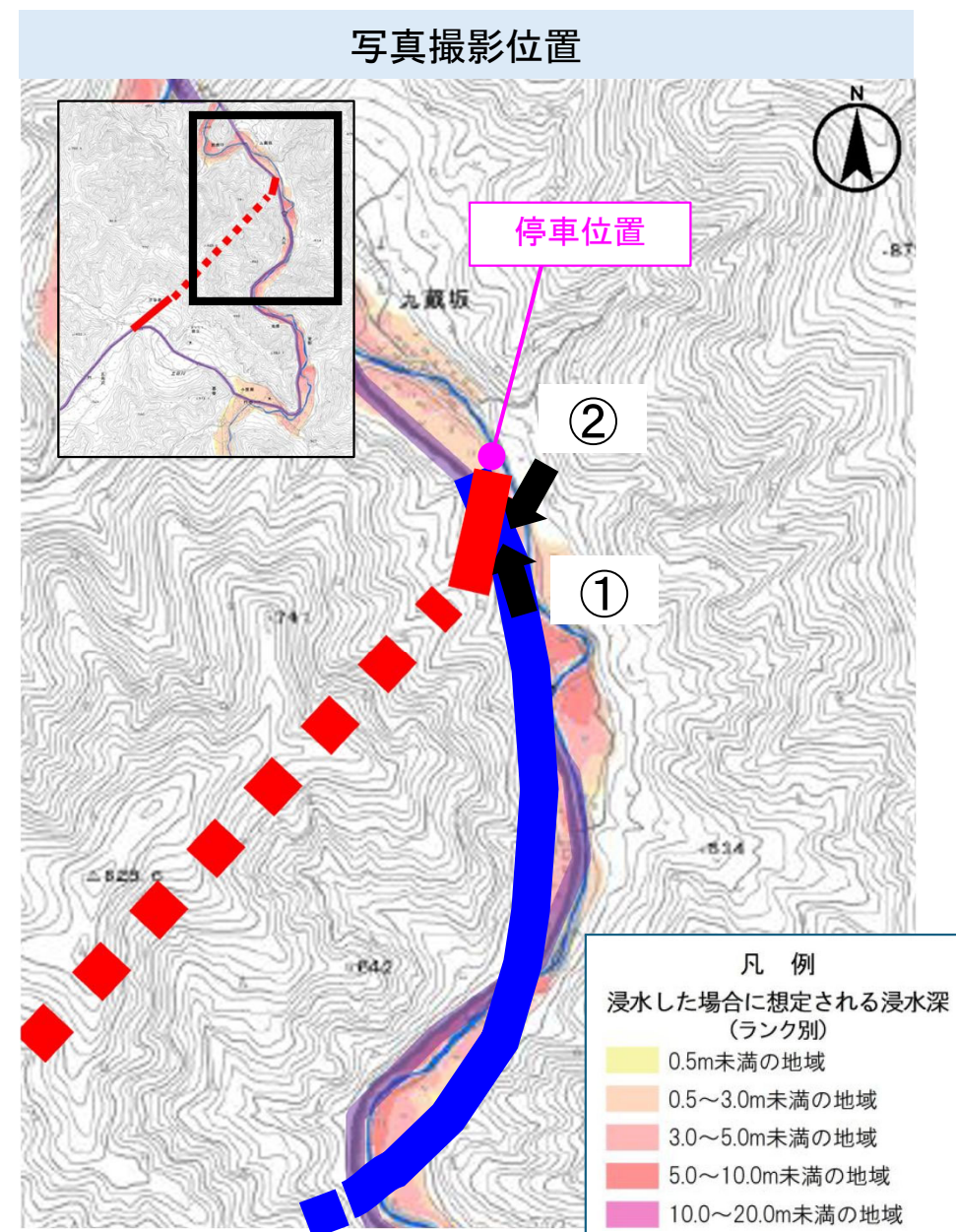
事業概要③(終点部)



【トンネル坑口】 終点側のトンネル坑口



【トンネル坑口】 終点側のトンネル坑口(正面)



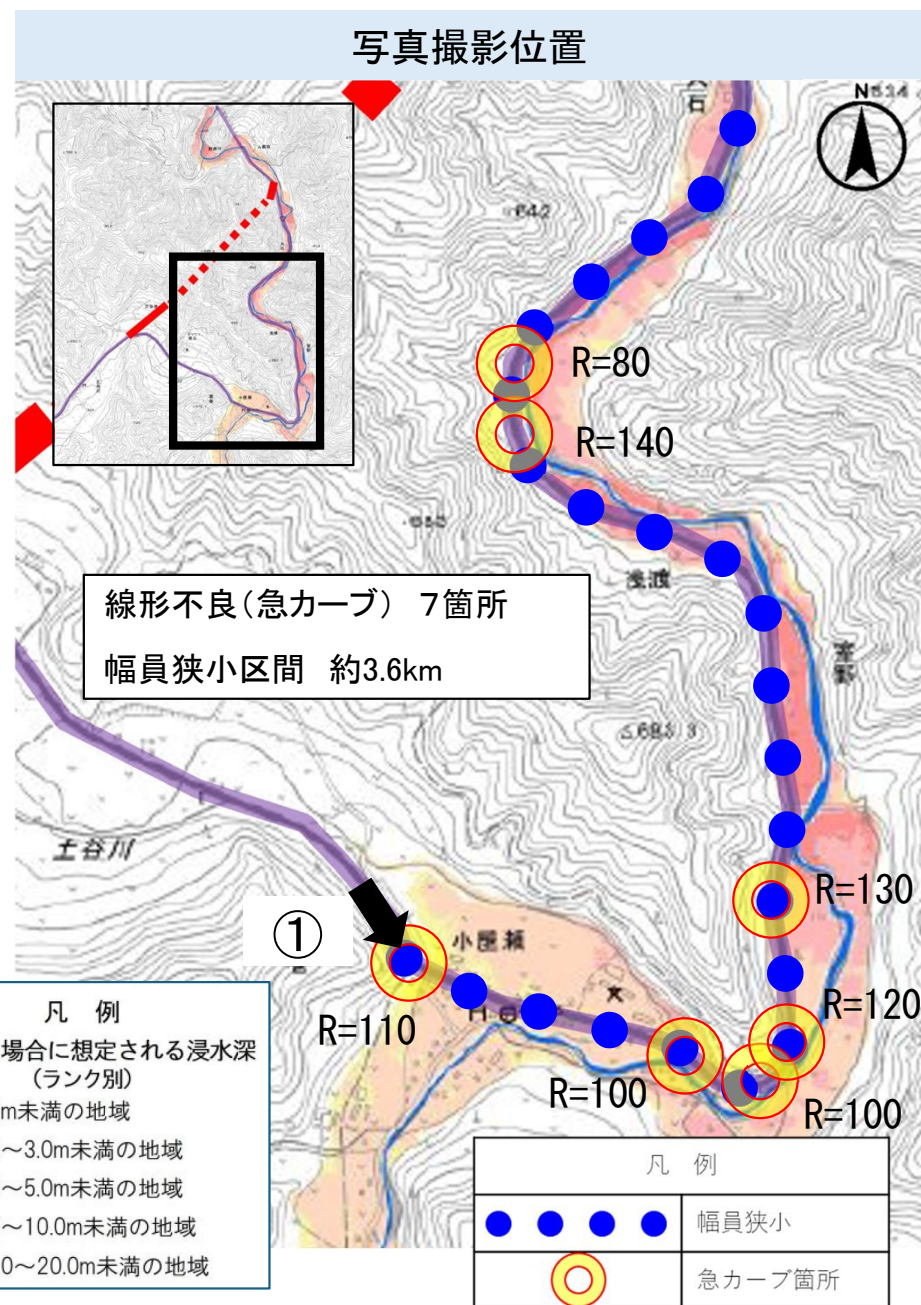
現道の課題①(幅員狭小、線形不良)



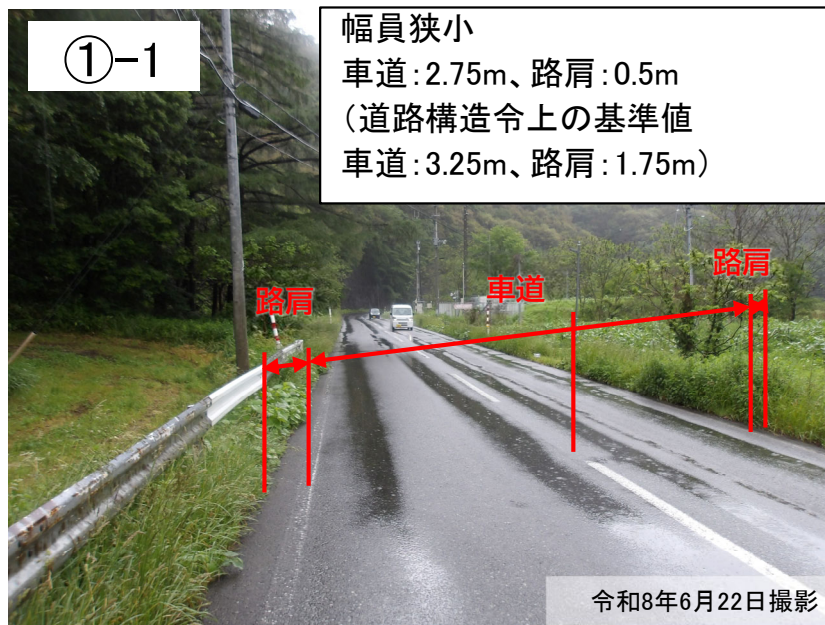
【現道課題】幅員狭小、線形不良箇所(夏季)



【現道課題】幅員狭小、線形不良箇所(冬季)



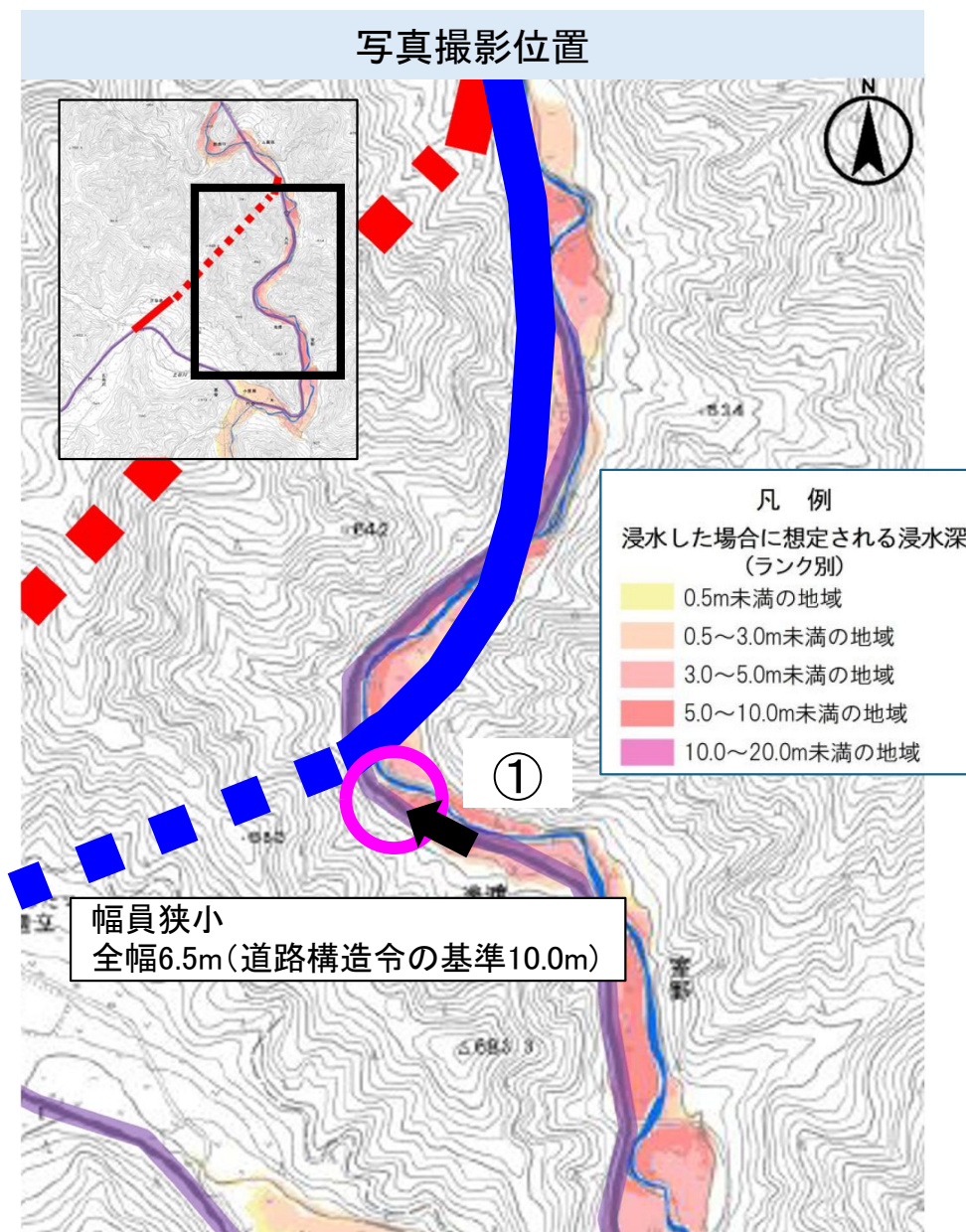
現道の課題②(幅員狭小、線形不良)



【現道課題】幅員狭小、線形不良箇所



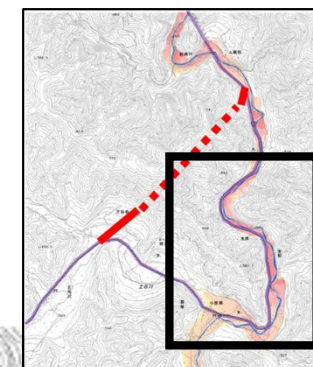
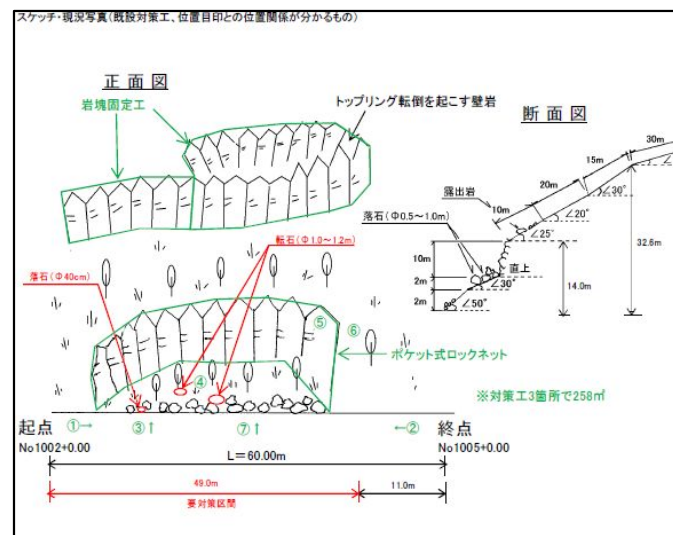
【現道課題】幅員狭小、線形不良箇所(冬期)



現道の課題③(防災点検要対策箇所)



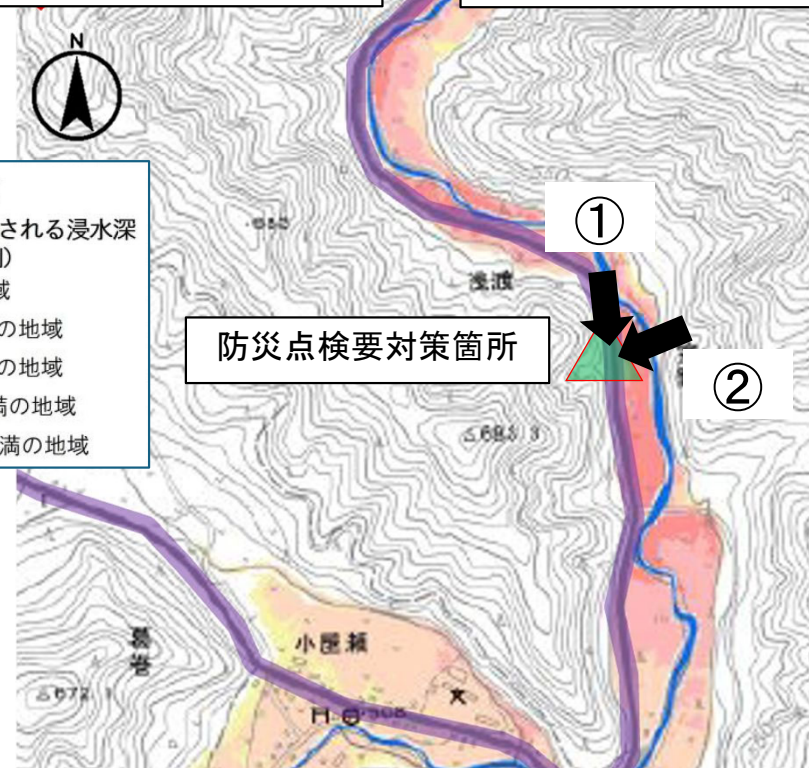
【現道課題】防災点検要対策箇所



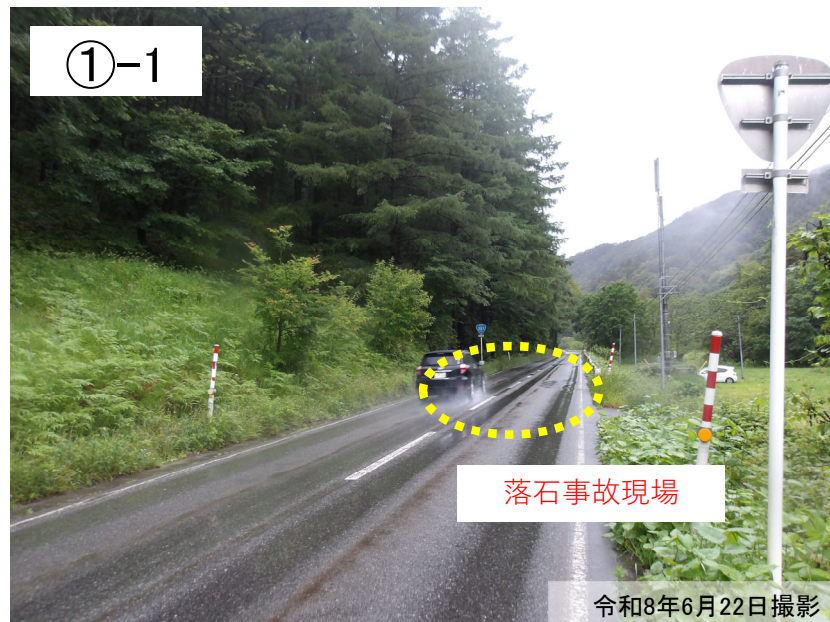
防災点検要対策箇所



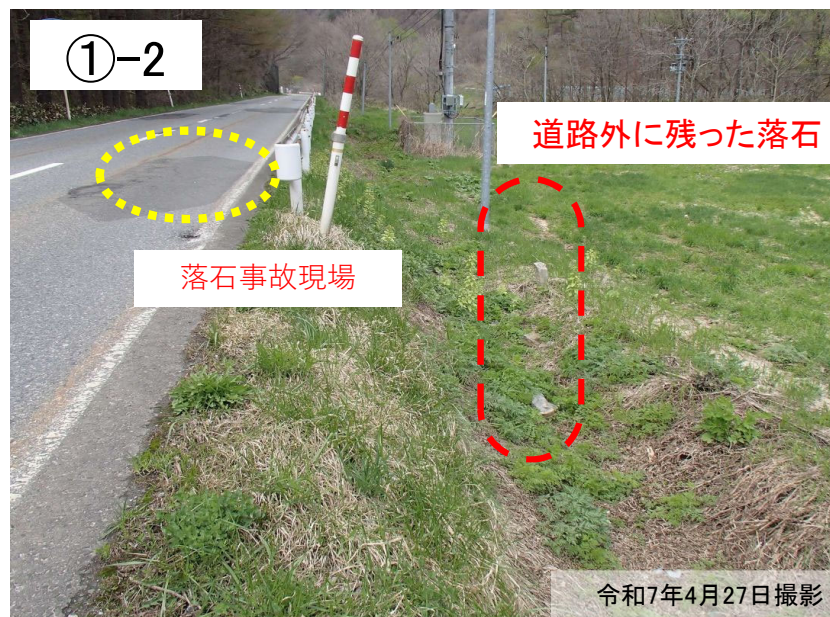
【現道課題】露出岩状況



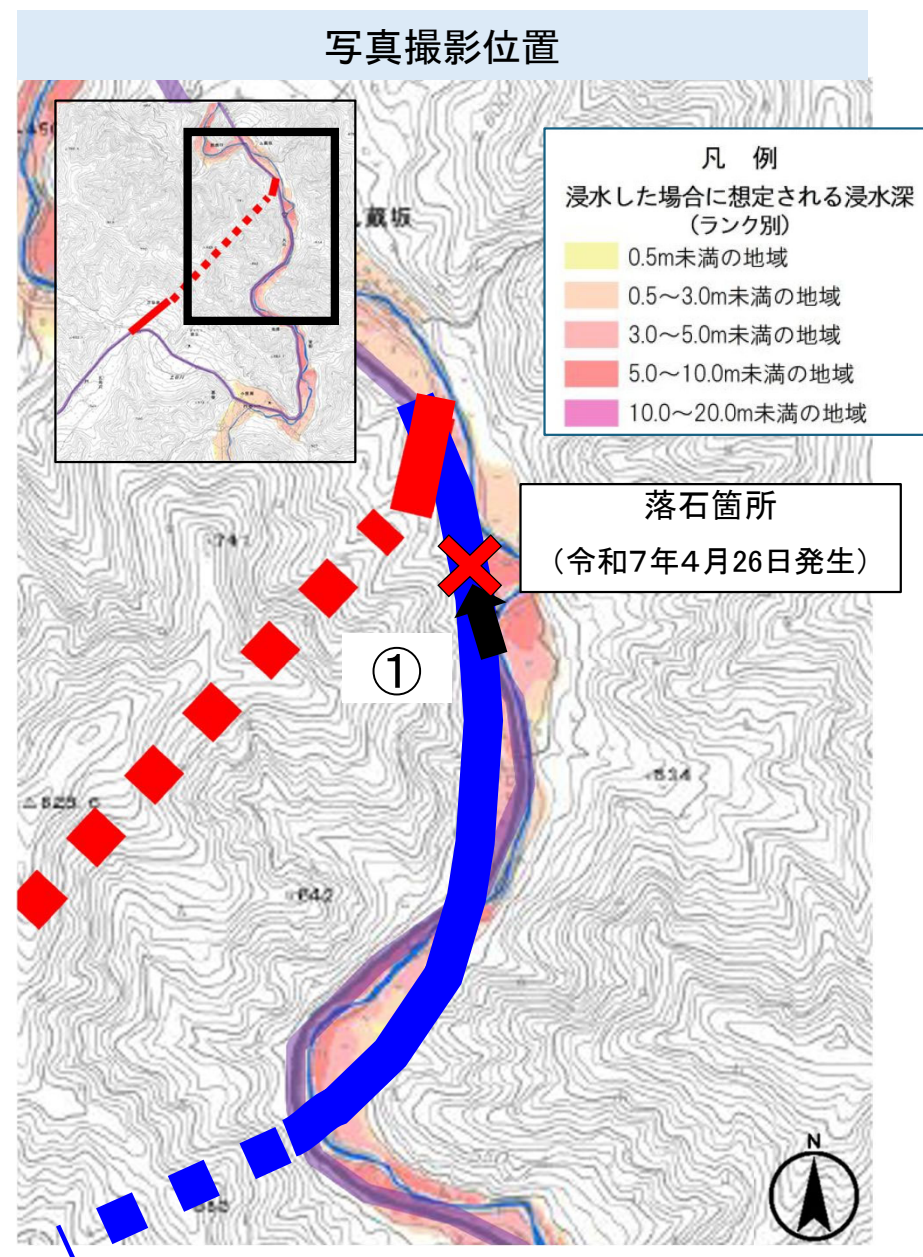
現道の課題④(落石危険箇所)



【現道課題】落石事故発生箇所



【現道課題】落石事故発生直後の状況



現道の課題⑤(土砂流出箇所)

①-1



令和8年6月22日撮影

【現道課題】土砂流出箇所(現況)

②



令和8年6月22日撮影

【現道課題】土砂流出箇所(現況)法面の様子

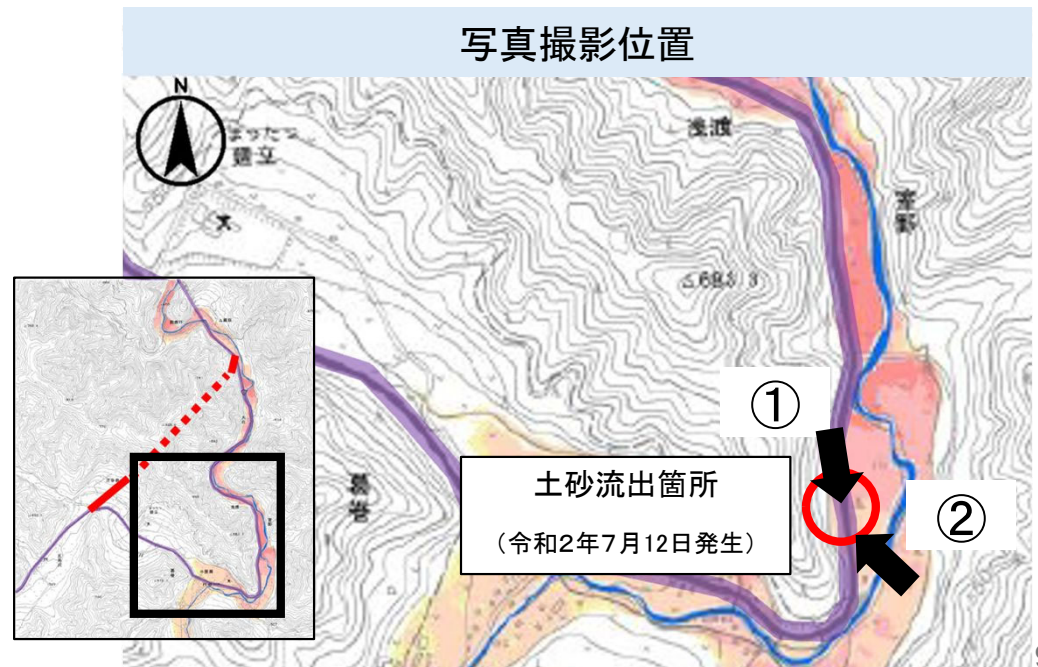
①-2



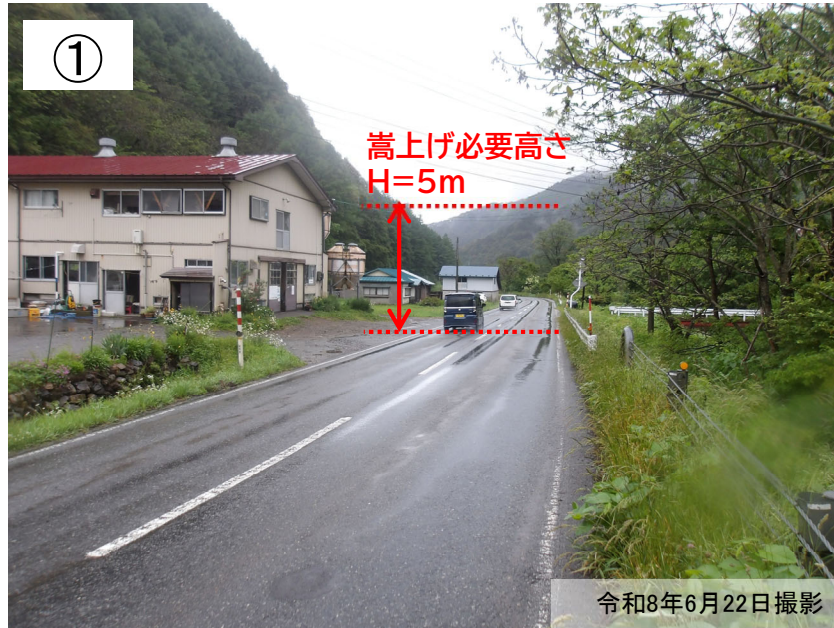
令和2年7月12日撮影

【現道課題】土砂流出箇所(発災時)

写真撮影位置



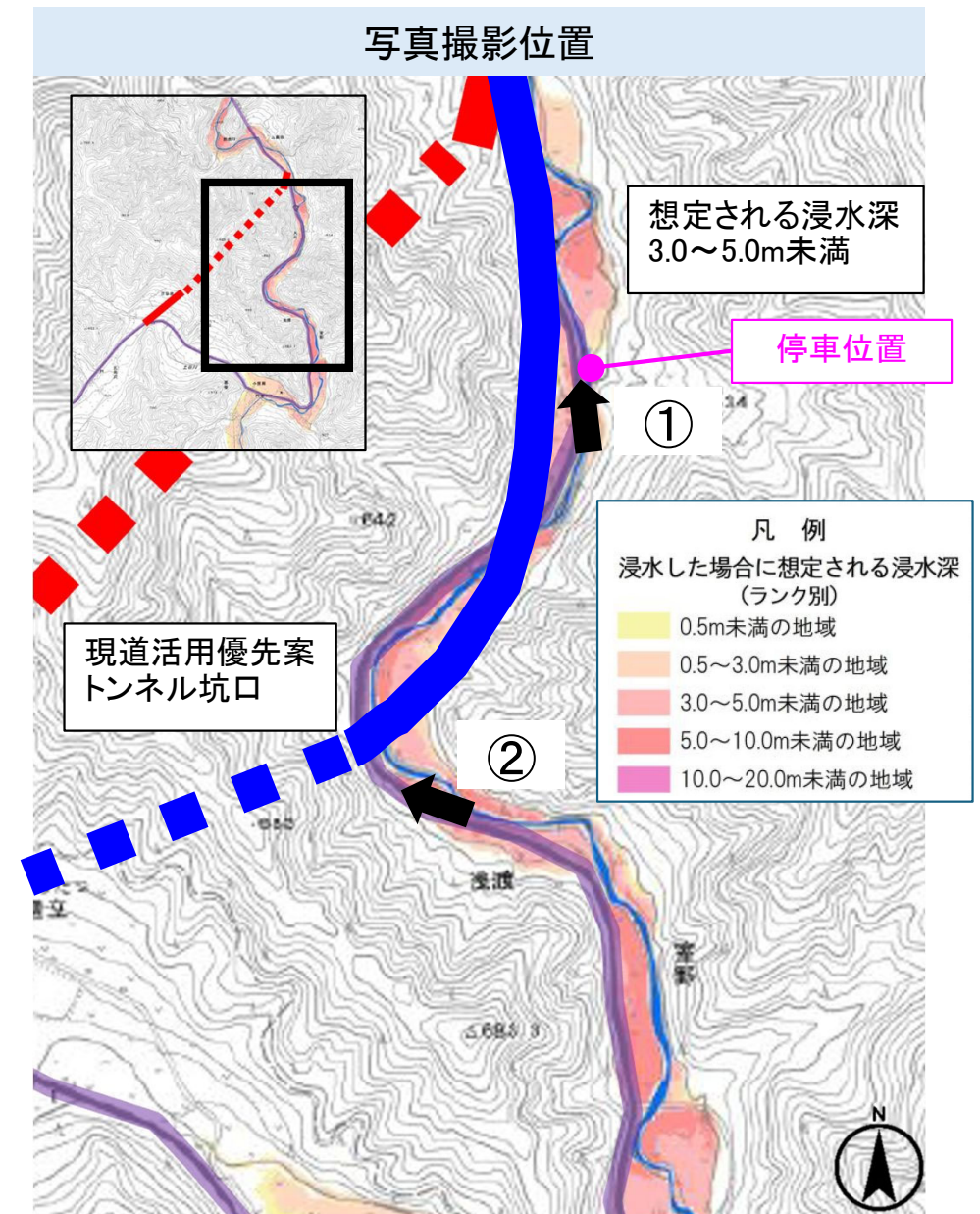
代替案(現道活用優先案 浸水嵩上げ、トンネル坑口位置)



【代替案】浸水嵩上げ高さ



【代替案】現道活用優先案 トンネル坑口位置(遠景)



地域連携道路整備事業(ネットワーク形成型) 一般国道281号小屋瀬道路 大規模公共事業 事前評価調書(基本設計後) 正誤表

正			誤			備	考						
基準年： R 8			基準年： R 8										
区 分		金 額 (百 万 円)	区 分		金 額 (百 万 円)	備 考							
費用項目	改築費	11,538	費用項目	改築費	11,538								
	維持費	151		費用項目	維持費	151							
	総 費 用 (C)	11,689			費用項目	総 費 用 (C)	11,689						
便益項目	時間短縮便益	14,053	便益項目			時間短縮便益	14,053						
	走行経費減少便益	1,624		便益項目		走行経費減少便益	1,624						
	事故減少便益	6			便益項目	事故減少便益	6						
	3 便益 ①	15,683				便益項目	3 便益 ①	15,683					
	環境改善便益	23					便益項目	環境改善便益	23				
	拡張便益	5,170						便益項目	拡張便益	5,170			
	その他便益 ②	5,193							便益項目	その他便益 ②	5,193		
	小計 (①+②)	20,876								便益項目	小計 (①+②)	20,876	
修正便益 ③	10,730	便益項目	修正便益 ③								18,157		
総便益 (B) ①+②+③	31,606		便益項目	総便益 (B) ①+②+③							39,033		
費用便益比(基本3便益) B(①)/C	1.3			便益項目	費用便益比(基本3便益) B(①)/C						1.3		
費用便益比(基本3便益+その他便益)B(①+②)/C	1.7				便益項目	費用便益比(基本3便益+その他便益)B(①+②)/C					1.7		
(参考) 修正費用便益比 B(①+②+③)/C	2.7					便益項目	(参考) 修正費用便益比 B(①+②+③)/C				3.3		

•一般国道281号は、盛岡市と久慈市を結ぶ主要な幹線道路であり、修正便益を算出するための地域修正係数に県北広域振興圏の係数(1.917)を適用していたが、事業地区が位置する葛巻町は県央広域振興圏であることから、適用する地域修正係数を県央広域振興圏の係数(1.514)に見直しを行ったもの。

地域修正便益の算定式
{(基本3便益)+(環境改善便益)+(拡張便益)}×(地域修正係数－1)

地域修正便益
県央広域振興圏:1.514
県北広域振興圏:1.917

修正便益、総便益、及び修正費用便益比を訂正

地域連携道路整備事業(ネットワーク形成型) 一般国道281号小屋瀬道路
大規模公共事業 事前評価調書(基本設計後) 正誤表

正					誤					備考																				
(事業名)地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型） <table><tr><th>着手年度</th><th>完了予定年度</th><th>事業費 (百万円)</th><th>事業に関する指標からみた評価点数</th><th>参考B/C (修正B/C)</th></tr><tr><td>9</td><td>19</td><td>17,000</td><td>78</td><td>1.3 (2.7)</td></tr></table>					着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	事業に関する指標からみた評価点数	参考B/C (修正B/C)	9	19	17,000	78	1.3 (2.7)	(事業名)地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型） <table><tr><th>着手年度</th><th>完了予定年度</th><th>事業費 (百万円)</th><th>事業に関する指標からみた評価点数</th><th>参考B/C (修正B/C)</th></tr><tr><td>9</td><td>19</td><td>17,000</td><td>78</td><td>1.3 (3.3)</td></tr></table>					着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	事業に関する指標からみた評価点数	参考B/C (修正B/C)	9	19	17,000	78	1.3 (3.3)	修正便益の訂正に伴う修正B/Cの訂正
着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	事業に関する指標からみた評価点数	参考B/C (修正B/C)																										
9	19	17,000	78	1.3 (2.7)																										
着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	事業に関する指標からみた評価点数	参考B/C (修正B/C)																										
9	19	17,000	78	1.3 (3.3)																										

様式 2

大規模公共事業 事前評価調書（基本設計後）

令和8年5月27日作成

事業名	地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型)	補助・単独	担当部課名	県土整備部道路建設課																						
路線名等	一般国道 281号	地区名	こやせどうろ 小屋瀬道路	市町村	葛巻町																					
事業概要	〔事業根拠法令等：道路法第12条、第50条〕																									
	(1) 事業目的 ○解決すべき課題 ・一般国道281号は、盛岡市を起点とし久慈市に至る内陸と沿岸を結ぶ主要な幹線道路であり、沿線地域の住民の生活はもとより、物流や防災、地域間交流等において重要な役割を担っている。 ・また、重要港湾久慈港と中枢中核都市の盛岡市を結ぶ物流路線であり、第三次救急医療施設の県立久慈病院や県立中央病院への搬送ルートとしても機能する内陸と県北地域を結ぶ基幹道路である。 ・さらに、「岩手県新広域道路交通計画」における一般広域道路及び「岩手県地域防災計画」における緊急輸送道路（第1次路線）に指定されているほか、重要物流道路の代替・補完路や「岩手県広域防災拠点配置計画」における後方支援拠点を有する葛巻町や広域支援拠点を有する滝沢市へアクセスする道路に位置づけられている。 ・東日本大震災津波の際には、「くしの歯作戦」により優先的に道路啓開され、内陸から沿岸への救命・救援ルートとして機能した。 ・しかしながら、当該区間は、幅員狭小や線形不良箇所が多数存在するほか、大部分が一級河川山形川の浸水想定区域となっており、防災点検要対策箇所が存在するなど、安全で円滑な交通の支障となっている。 ○整備によって得られる効果 ・本事業により、幅員狭小や線形不良区間、浸水想定区域等の課題を解消し、緊急輸送道路としての機能強化、物流機能の向上、救急搬送の支援等に資するものである。 (2) 事業内容 ・計画延長：L=約3km ・計画幅員：W=6.5 (10.0) m (一般部) W=6.5 (8.0) m (トンネル部) ・主要構造物：トンネル約2km、橋梁1橋 (3) 整備目標等 ・幅員狭小、線形不良区間の解消：現道延長約6km (4) 事業計画期間及び総事業費 ○事業計画期間：令和9年度～令和19年度 (用地着手予定年度：令和12年度、工事着手予定年度：令和14年度) ○総事業費：17,000百万円																									
社会経済情勢等	(1) 全国の状況 ・国の主要施策の基本方針として、「防災・減災、国土強靱化」「予防保全型メンテナンスへの本格転換」「人流・物流を支えるネットワーク・拠点の整備」「GXの推進による脱炭素社会の実現」「道路システムのDX」「道路空間の安全・安心や賑わいの創出」を定め、道路施策に取り組むこととしている。 (2) 本県内の状況 ・「いわて県民計画（2019～2028）」において、社会基盤分野として『防災対策や産業振興など幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手』を政策推進の基本的な考え方としている。 ・この中で道路分野では、災害に強い道路ネットワークを構築するため、幹線道路の整備や緊急輸送道路等の防災機能の強化及び日常生活を支える安全・安心な道づくりのため、救急搬送ルートの整備や地域の実情に応じた道路整備、物流の効率化など生産性の向上を図るため、内陸部と港湾を結ぶ道路や工業団地、インターチェンジへのアクセス道路の整備を推進することとしている。 ・同様に、「岩手県国土強靱化地域計画」においても、災害に強く信頼性の高い幹線道路ネットワークの構築を推進することとしている。 ・また、令和3年6月には広域的な道路ネットワークの長期的な構想である「岩手県新広域道路交通計画」を策定し、その中で、国道281号は、中枢中核都市や定住自立圏中心市、その他周辺都市など広域交通の拠点となる都市を効率的かつ効果的に連絡する「一般広域道路」に位置付けられている。 (3) 施工地域における状況 ・久慈市、岩手町、葛巻町、野田村、関係団体から当該地区の整備について要望がある。 (参考) 予算の動向 ・道路改築関係予算は、東日本大震災津波前（平成22年度）の約6割程度で推移している。 ・整備効果の早期発現を図るため、「選択と集中」により継続地区に重点投資するほか、新規地区は、必要性、緊急性等の高い箇所を厳選して着手することとしている。 道路建設課所管事業（補助・県単）の過去5年間の予算状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H22</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費（百万円）</td> <td>11,078</td> <td>5,293</td> <td>6,160</td> <td>6,271</td> <td>5,926</td> <td>5,765</td> </tr> <tr> <td>対前年度比</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>116.4%</td> <td>101.8%</td> <td>94.5%</td> <td>97.3%</td> </tr> </tbody> </table> ※事業費は2月補正予算。直轄負担金は含まない。					年度	H22	R3	R4	R5	R6	R7	事業費（百万円）	11,078	5,293	6,160	6,271	5,926	5,765	対前年度比	—	—	116.4%	101.8%	94.5%	97.3%
年度	H22	R3	R4	R5	R6	R7																				
事業費（百万円）	11,078	5,293	6,160	6,271	5,926	5,765																				
対前年度比	—	—	116.4%	101.8%	94.5%	97.3%																				

自然環境等の状況	(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分 ・岩手県自然環境保全指針による保全区分 A ・希少野生動植物生息の有無 あり ・埋蔵文化財包蔵地の有無 なし (2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費 ・事業実施にあたっては、広域振興局の公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら、必要に応じて関係機関との協議や現地調査を行うなど、環境に配慮して事業を進めることとしている。 ・施工にあたっては、排ガス対策及び低騒音型建設機械の使用、再生アスファルト合材及び再生砕石の使用を基本とする。 ≪環境等への配慮に要する経費≫ ・再生AS合材や再生砕石を使用（約52,000千円） ・切土・盛土の植生緑化（約60,000千円） ・環境調査の実施（約45,000千円）																																																																																																																																		
	(1) 事業費の内容 ・本工事費 16,270百万円 ・用地費 30百万円 ・測量試験費 700百万円 ・合計 17,000百万円 (2) 事業に関する指標からみた評価 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価指標</th><th>区分</th><th>配点</th><th>評点</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="9">必要性</td><td>車道等幅員</td><td>規定値-2m未満</td><td>5</td><td>5</td><td>6.5m<規定値-2m (7.5m)</td></tr> <tr> <td>曲線半径</td><td>-10km/h規定値未満</td><td>5</td><td>4</td><td>80m<規定値 (100m)</td></tr> <tr> <td>縦断勾配</td><td></td><td>5</td><td>0</td><td>3.8%≦規定値 (5%)</td></tr> <tr> <td>歩道設置の必要性</td><td>該当なし</td><td>3</td><td>0</td><td>不要</td></tr> <tr> <td>混雑度</td><td>1.0未満</td><td>2</td><td>0</td><td>混雑度0.36</td></tr> <tr> <td>定時性</td><td>速度差10.0km/h以上</td><td>2</td><td>2</td><td>14.7km/h≧10.0km/h</td></tr> <tr> <td>事故率</td><td>履歴なし</td><td>3</td><td>0</td><td>履歴なし</td></tr> <tr> <td>過疎地域等の振興</td><td>過疎かつ山村振興地域</td><td>5</td><td>5</td><td>過疎、山村</td></tr> <tr> <td>小計</td><td></td><td>30</td><td>16</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="3">重要性</td><td>ネットワークの位置付け</td><td>一般広域道路</td><td>15</td><td>15</td><td>一般広域道路</td></tr> <tr> <td>産業振興、生活支援</td><td>6項目該当</td><td>15</td><td>15</td><td>物流支援、農業支援、観光支援、救急医療アクセス、公共施設アクセス、通園通学路の安全性向上</td></tr> <tr> <td>小計</td><td></td><td>30</td><td>30</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="5">緊急性</td><td>関連事業の有無</td><td>有り</td><td>5</td><td>5</td><td>県北振興</td></tr> <tr> <td>冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等</td><td>有り</td><td>5</td><td>5</td><td>防災点検要対策箇所</td></tr> <tr> <td>部分供用の有無</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td></td></tr> <tr> <td>10km以内に迂回路</td><td>無し</td><td>5</td><td>5</td><td>無し</td></tr> <tr> <td>小計</td><td></td><td>15</td><td>15</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="2">効率性</td><td>費用便益比 (B/C)</td><td>1.0≦B/C<1.5</td><td>20</td><td>15</td><td>B/C=1.3</td></tr> <tr> <td>小計</td><td></td><td>20</td><td>15</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="3">熟度</td><td>用地取得の進捗状況</td><td>0%</td><td>3</td><td>0</td><td>0%</td></tr> <tr> <td>地元要望</td><td>有り</td><td>2</td><td>2</td><td>久慈市、葛巻町、関係団体ほか</td></tr> <tr> <td>小計</td><td></td><td>5</td><td>2</td><td></td></tr> <tr> <td colspan="2">合計</td><td></td><td>100</td><td>78</td><td></td></tr> </tbody> </table>					評価指標		区分	配点	評点	備考	必要性	車道等幅員	規定値-2m未満	5	5	6.5m<規定値-2m (7.5m)	曲線半径	-10km/h規定値未満	5	4	80m<規定値 (100m)	縦断勾配		5	0	3.8%≦規定値 (5%)	歩道設置の必要性	該当なし	3	0	不要	混雑度	1.0未満	2	0	混雑度0.36	定時性	速度差10.0km/h以上	2	2	14.7km/h≧10.0km/h	事故率	履歴なし	3	0	履歴なし	過疎地域等の振興	過疎かつ山村振興地域	5	5	過疎、山村	小計		30	16		重要性	ネットワークの位置付け	一般広域道路	15	15	一般広域道路	産業振興、生活支援	6項目該当	15	15	物流支援、農業支援、観光支援、救急医療アクセス、公共施設アクセス、通園通学路の安全性向上	小計		30	30		緊急性	関連事業の有無	有り	5	5	県北振興	冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等	有り	5	5	防災点検要対策箇所	部分供用の有無	-	-	-		10km以内に迂回路	無し	5	5	無し	小計		15	15		効率性	費用便益比 (B/C)	1.0≦B/C<1.5	20	15	B/C=1.3	小計		20	15		熟度	用地取得の進捗状況	0%	3	0	0%	地元要望	有り	2	2	久慈市、葛巻町、関係団体ほか	小計		5	2		合計			100	78
評価指標		区分	配点	評点	備考																																																																																																																														
必要性	車道等幅員	規定値-2m未満	5	5	6.5m<規定値-2m (7.5m)																																																																																																																														
	曲線半径	-10km/h規定値未満	5	4	80m<規定値 (100m)																																																																																																																														
	縦断勾配		5	0	3.8%≦規定値 (5%)																																																																																																																														
	歩道設置の必要性	該当なし	3	0	不要																																																																																																																														
	混雑度	1.0未満	2	0	混雑度0.36																																																																																																																														
	定時性	速度差10.0km/h以上	2	2	14.7km/h≧10.0km/h																																																																																																																														
	事故率	履歴なし	3	0	履歴なし																																																																																																																														
	過疎地域等の振興	過疎かつ山村振興地域	5	5	過疎、山村																																																																																																																														
	小計		30	16																																																																																																																															
重要性	ネットワークの位置付け	一般広域道路	15	15	一般広域道路																																																																																																																														
	産業振興、生活支援	6項目該当	15	15	物流支援、農業支援、観光支援、救急医療アクセス、公共施設アクセス、通園通学路の安全性向上																																																																																																																														
	小計		30	30																																																																																																																															
緊急性	関連事業の有無	有り	5	5	県北振興																																																																																																																														
	冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等	有り	5	5	防災点検要対策箇所																																																																																																																														
	部分供用の有無	-	-	-																																																																																																																															
	10km以内に迂回路	無し	5	5	無し																																																																																																																														
	小計		15	15																																																																																																																															
効率性	費用便益比 (B/C)	1.0≦B/C<1.5	20	15	B/C=1.3																																																																																																																														
	小計		20	15																																																																																																																															
熟度	用地取得の進捗状況	0%	3	0	0%																																																																																																																														
	地元要望	有り	2	2	久慈市、葛巻町、関係団体ほか																																																																																																																														
	小計		5	2																																																																																																																															
合計			100	78																																																																																																																															

○ 費用便益分析

費用便益分析手法： 道路建設課所管道路事業費用便益分析の手引き[令和8年4月]

基準年： R 8

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	改築費	11,538	
	維持費	151	
	総 費 用 (C)	11,689	
便益項目	時間短縮便益	14,053	
	走行経費減少便益	1,624	
	事故減少便益	6	
	3 便益 ①	15,683	
	環境改善便益	23	
	拡張便益	5,170	
	その他便益 ②	5,193	
	小計 (①+②)	20,876	
	修正便益 ③	10,730	
	総便益 (B) ①+②+③	31,606	
費用便益比(基本3便益) B(①)/C		1.3	
費用便益比(基本3便益+その他便益) B(①+②)/C		1.7	
(参考)修正費用便益比 B(①+②+③)/C		2.7	

参考 将来交通量 2,400 台/日 (R22)

※費用便益分析において地域特性等考慮すべき特記事項

・参考として、地域補正計数による修正便益を考慮したB/Cを算出している。

○ 関連する開発プロジェクト等の状況

なし

(3) コスト縮減対策の取り組み状況

- ・代替案を含めた比較検討により、最も経済的なルートを選定している。
- ・詳細設計において、将来的な維持管理を含めたライフサイクルコストの最小化に努めることとしている。

(4) 代替案の比較検討結果

比較検討の結果、浸水想定区域や防災点検要対策箇所等の通行危険箇所を回避し、距離短縮及び時間短縮効果が大きい現計画（トンネル案）が適当と判断したものである。

○トンネル案：浸水想定区域や防災点検要対策箇所等の危険箇所を回避し、距離短縮・時間短縮効果及び経済性に優れる。

(距離短縮：3 km 時間短縮：6 分)

○現道活用優先案：浸水想定区域や防災点検要対策箇所等の危険箇所の対策が必要であり、距離短縮・時間短縮効果及び経済性に劣る。

(距離短縮：2 km 時間短縮：5 分)

(5) 事業規模の妥当性

- ・小屋瀬地区の幅員狭小、線形不良区間、浸水想定区域等の課題を解消し、現道取付が可能な位置を起終点としている。
- ・代替案として考えられる事業手法の総合的な検討の結果、トンネル案が最も妥当であり、また、事

総合評価

(1) 総合評価

対応方針案	事業実施	・	要検討	・	その他
-------	------	---	-----	---	-----

(事業名) 地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型)

着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	事業に関する指標からみた評価点数	参考 B/C (修正 B/C)
9	19	17,000	78	1.3 <u>(2.7)</u>

○総合評価に係るコメント

【事業目的】

・本事業により、幅員狭小や線形不良区間、浸水想定区域等の課題を解消し、安全で円滑な交通機能の確保を図るものである。

【社会経済情勢等】

・重要港湾久慈港と内陸を結ぶ物流上重要な路線であり、「岩手県地域防災計画」における緊急輸送道路（第1次路線）として、平常時、災害時を問わない安定的な輸送の確保が求められる路線である。

・「いわて県民計画（2019～2028）」及び「岩手県国土強靱化地域計画」の政策目標に合致しており、災害に強い幹線道路の整備を推進するものである。

・久慈市、岩手町、葛巻町、野田村、国道281号整備促進期成同盟会等の関係団体から当該地区の整備について要望がある。

【自然環境等への配慮について】

・事業実施にあたっては、広域振興局の公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら、必要に応じて関係機関との協議や現地調査を行うなど、環境に配慮して事業を進めることとしている。

【事業計画の妥当性について】

・指標や費用便益分析の結果から事業効果が認められることや、代替案の比較検討結果から、事業計画が妥当であると判断したものである。

・以上のことから「事業実施」と評価したものである。

大規模公共事業 事前評価調書 (付表)

事業名	地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型)	補助 単独	担当部課名	県土整備部道路建設課	
路線名等	一般国道 281号	地区名	こやせどうろ 小屋瀬道路	市町村	葛巻町

1 現在までの事業に係る経緯等

- ・令和5年度 道路現況調査
- ・令和6年度 道路概略設計
- ・令和7年度 道路予備設計

2 住民意見の状況及びこれに対する対応

- ・久慈市、岩手町、葛巻町、野田村、国道281号整備促進期成同盟会等の関係団体から当該地区の整備について要望があり、今後も引き続き道路整備を推進していくこととしている。
(近年の要望状況)
- 久慈市 令和7年8月25日
- 岩手町 令和7年8月1日
- 葛巻町 令和7年8月1日
- 野田村 令和7年8月25日
- 国道281号整備促進期成同盟会 令和7年7月22日
- 北岩手・北三陸横断道路整備促進期成同盟会 令和6年3月25日

3 環境対策の具体的内容

- ・有識者等の指導と助言のもと、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら事業を進める。
- 希少野生動植物の調査、必要に応じて移植等の対応
- 排ガス対策及び低騒音型建設機械の使用

4 費用便益分析の詳細(算定方法、算出根拠等)

○ 費用便益分析

費用便益分析手法: 道路建設課所管道路事業費用便益分析の手引き[令和8年4月]

基準年: R 8

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	改築費	11,538	
	維持費	151	
	総 費 用 (C)	11,689	
便益項目	時間短縮便益	14,053	
	走行経費減少便益	1,624	
	事故減少便益	6	
	3 便益 ①	15,683	
	環境改善便益	23	
	拡張便益	5,170	
	その他便益 ②	5,193	
	小計 (①+②)	20,876	
	修正便益 ③	10,730	
	総便益 (B) ①+②+③	31,606	
費用便益比(基本3便益) B(①)/C		1.3	
費用便益比(基本3便益+その他便益) B(①+②)/C		1.7	
(参考) 修正費用便益比 B(①+②+③)/C		2.7	

参考 将来交通量 2,400 台/日 (R22)

以下の項目については、いずれも基準年において現在価値化し便益を算出している。

① 改築費 : 道路建設に要する費用

② 維持費 : 供用開始後50年間に於ける維持管理費

③ 時間短縮便益 : 供用開始後50年間に於ける時間短縮における利益

④ 走行経費減少便益 : 供用開始後50年間に於ける燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費等の減少効果

⑤ 事故減少便益 : 供用開始後50年間に於ける、発生する恐れのある人身または物損事故などの公的損害や、事故により発生する交通渋滞における損失の減少効果

⑥ 環境改善便益 : 供用開始後50年間に於ける大気汚染、騒音及び地球温暖化に対する減少効果

⑦ 拡張便益 : 供用開始後50年間に於ける、走行時の快適性及び救急医療施設へのアクセスの確保による緊急時の安心感などの効果

⑧ 修正便益 : 東京を基準 (1.0) とし、所得水準や物価水準といった地域間格差を考慮

5 代替案の検討内容

現道活用優先案と比較検討した結果、浸水想定区域や防災点検要対策箇所等の通行危険箇所を回避し、距離短縮及び時間短縮効果が大きい現計画 (トンネル案) が適当と判断したものである。

○トンネル案: 浸水想定区域等を回避し、距離短縮及び時間短縮にも優位な経路である。
(距離短縮: 3 km 時間短縮: 6 分)

○現道活用優先案: 浸水想定区域は現道の嵩上げで回避できるものの、豪雨時の土砂流出や落石等の懸念がある。
また、距離短縮・時間短縮効果はトンネル案に劣る。
(距離短縮: 2 km 時間短縮: 5 分)

様式 2

大規模公共事業 事前評価調書（基本設計後）

令和8年5月27日作成

事業名	地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型)	補助・単独	担当部課名	県土整備部道路建設課																						
路線名等	一般国道 281号	地区名	こやせどうろ 小屋瀬道路	市町村	葛巻町																					
事業概要	〔事業根拠法令等：道路法第12条、第50条〕																									
	(1) 事業目的 ○解決すべき課題 ・一般国道281号は、盛岡市を起点とし久慈市に至る主要な幹線道路であり、沿線地域の住民の生活はもとより、物流や防災、地域間交流等において重要な役割を担っている。 ・また、重要港湾久慈港と中枢中核都市の盛岡市を結ぶ物流路線であり、第三次救急医療施設の県立久慈病院や県立中央病院への搬送ルートとしても機能する内陸と県北地域を結ぶ基幹道路である。 ・さらに、「岩手県新広域道路交通計画」における一般広域道路及び「岩手県地域防災計画」における緊急輸送道路（第1次路線）に指定されているほか、重要物流道路の代替・補完路や「岩手県広域防災拠点配置計画」における後方支援拠点を有する葛巻町や広域支援拠点を有する滝沢市へアクセスする道路に位置づけられている。 ・東日本大震災津波の際には、「くしの歯作戦」により優先的に道路啓開され、内陸から沿岸への救命・救援ルートとして機能した。 ・しかしながら、当該区間は、幅員狭小や線形不良箇所が多数存在するほか、大部分が一級河川山形川の浸水想定区域となっており、防災点検要対策箇所が存在するなど、安全で円滑な交通の支障となっている。 ○整備によって得られる効果 ・本事業により、幅員狭小や線形不良区間、浸水想定区域等の課題を解消し、緊急輸送道路としての機能強化、物流機能の向上、救急搬送の支援等に資するものである。 (2) 事業内容 ・計画延長：L=約3km ・計画幅員：W=6.5 (10.0) m (一般部) W=6.5 (8.0) m (トンネル部) ・主要構造物：トンネル約2km、橋梁1橋 (3) 整備目標等 ・幅員狭小、線形不良区間の解消：現道延長約6km (4) 事業計画期間及び総事業費 ○事業計画期間：令和9年度～令和19年度 (用地着手予定年度：令和12年度、工事着手予定年度：令和14年度) ○総事業費：17,000百万円																									
社会経済情勢等	(1) 全国の状況 ・国の主要施策の基本方針として、「防災・減災、国土強靱化」「予防保全型メンテナンスへの本格転換」「人流・物流を支えるネットワーク・拠点の整備」「GXの推進による脱炭素社会の実現」「道路システムのDX」「道路空間の安全・安心や賑わいの創出」を定め、道路施策に取り組むこととしている。 (2) 本県内の状況 ・「いわて県民計画（2019～2028）」において、社会基盤分野として『防災対策や産業振興など幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手』を政策推進の基本的な考え方としている。 ・この中で道路分野では、災害に強い道路ネットワークを構築するため、幹線道路の整備や緊急輸送道路等の防災機能の強化及び日常生活を支える安全・安心な道づくりのため、救急搬送ルートの整備や地域の実情に応じた道路整備、物流の効率化など生産性の向上を図るため、内陸部と港湾を結ぶ道路や工業団地、インターチェンジへのアクセス道路の整備を推進することとしている。 ・同様に、「岩手県国土強靱化地域計画」においても、災害に強く信頼性の高い幹線道路ネットワークの構築を推進することとしている。 ・また、令和3年6月には広域的な道路ネットワークの長期的な構想である「岩手県新広域道路交通計画」を策定し、その中で、国道281号は、中枢中核都市や定住自立圏中心市、その他周辺都市など広域交通の拠点となる都市を効率的かつ効果的に連絡する「一般広域道路」に位置付けられている。 (3) 施工地域における状況 ・久慈市、岩手町、葛巻町、野田村、関係団体から当該地区の整備について要望がある。 (参考) 予算の動向 ・道路改築関係予算は、東日本大震災津波前（平成22年度）の約6割程度で推移している。 ・整備効果の早期発現を図るため、「選択と集中」により継続地区に重点投資するほか、新規地区は、必要性、緊急性等の高い箇所を厳選して着手することとしている。 道路建設課所管事業（補助・県単）の過去5年間の予算状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H22</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費（百万円）</td> <td>11,078</td> <td>5,293</td> <td>6,160</td> <td>6,271</td> <td>5,926</td> <td>5,765</td> </tr> <tr> <td>対前年度比</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>116.4%</td> <td>101.8%</td> <td>94.5%</td> <td>97.3%</td> </tr> </tbody> </table> ※事業費は2月補正予算。直轄負担金は含まない。					年度	H22	R3	R4	R5	R6	R7	事業費（百万円）	11,078	5,293	6,160	6,271	5,926	5,765	対前年度比	—	—	116.4%	101.8%	94.5%	97.3%
年度	H22	R3	R4	R5	R6	R7																				
事業費（百万円）	11,078	5,293	6,160	6,271	5,926	5,765																				
対前年度比	—	—	116.4%	101.8%	94.5%	97.3%																				

自然環境等の状況	(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分 ・岩手県自然環境保全指針による保全区分 A ・希少野生動植物生息の有無 あり ・埋蔵文化財包蔵地の有無 なし (2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費 ・事業実施にあたっては、広域振興局の公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら、必要に応じて関係機関との協議や現地調査を行うなど、環境に配慮して事業を進めることとしている。 ・施工にあたっては、排ガス対策及び低騒音型建設機械の使用、再生アスファルト合材及び再生砕石の使用を基本とする。 ≪環境等への配慮に要する経費≫ ・再生AS合材や再生砕石を使用（約52,000千円） ・切土・盛土の植生緑化（約60,000千円） ・環境調査の実施（約45,000千円）																																																																																																																																			
	(1) 事業費の内容 ・本工事費 16,270百万円 ・用地費 30百万円 ・測量試験費 700百万円 ・合計 17,000百万円 (2) 事業に関する指標からみた評価																																																																																																																																			
事業計画の妥当性	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価指標</th> <th>区分</th> <th>配点</th> <th>評点</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="9">必要性</td> <td>車道等幅員</td> <td>規定値-2m未満</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>6.5m<規定値-2m (7.5m)</td> </tr> <tr> <td>曲線半径</td> <td>-10km/h規定値未満</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>80m<規定値 (100m)</td> </tr> <tr> <td>縦断勾配</td> <td></td> <td>5</td> <td>0</td> <td>3.8%≦規定値 (5%)</td> </tr> <tr> <td>歩道設置の必要性</td> <td>該当なし</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>不要</td> </tr> <tr> <td>混雑度</td> <td>1.0未満</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>混雑度0.36</td> </tr> <tr> <td>定時性</td> <td>速度差10.0km/h以上</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>14.7km/h≧10.0km/h</td> </tr> <tr> <td>事故率</td> <td>履歴なし</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>履歴なし</td> </tr> <tr> <td>過疎地域等の振興</td> <td>過疎かつ山村振興地域</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>過疎、山村</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>30</td> <td>16</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">重要性</td> <td>ネットワークの位置付け</td> <td>一般広域道路</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>一般広域道路</td> </tr> <tr> <td>産業振興、生活支援</td> <td>6項目該当</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>物流支援、農業支援、観光支援、救急医療アクセス、公共施設アクセス、通園通学路の安全性向上</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>30</td> <td>30</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">緊急性</td> <td>関連事業の有無</td> <td>有り</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>県北振興</td> </tr> <tr> <td>冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等</td> <td>有り</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>防災点検要対策箇所</td> </tr> <tr> <td>部分供用の有無</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10km以内に迂回路</td> <td>無し</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>15</td> <td>15</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">効率性</td> <td>費用便益比 (B/C)</td> <td>1.0≦B/C<1.5</td> <td>20</td> <td>15</td> <td>B/C=1.3</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>20</td> <td>15</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">熟度</td> <td>用地取得の進捗状況</td> <td>0%</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>地元要望</td> <td>有り</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>久慈市、葛巻町、関係団体ほか</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>5</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td></td> <td>100</td> <td>78</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					評価指標		区分	配点	評点	備 考	必要性	車道等幅員	規定値-2m未満	5	5	6.5m<規定値-2m (7.5m)	曲線半径	-10km/h規定値未満	5	4	80m<規定値 (100m)	縦断勾配		5	0	3.8%≦規定値 (5%)	歩道設置の必要性	該当なし	3	0	不要	混雑度	1.0未満	2	0	混雑度0.36	定時性	速度差10.0km/h以上	2	2	14.7km/h≧10.0km/h	事故率	履歴なし	3	0	履歴なし	過疎地域等の振興	過疎かつ山村振興地域	5	5	過疎、山村	小計		30	16		重要性	ネットワークの位置付け	一般広域道路	15	15	一般広域道路	産業振興、生活支援	6項目該当	15	15	物流支援、農業支援、観光支援、救急医療アクセス、公共施設アクセス、通園通学路の安全性向上	小計		30	30		緊急性	関連事業の有無	有り	5	5	県北振興	冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等	有り	5	5	防災点検要対策箇所	部分供用の有無	-	-	-		10km以内に迂回路	無し	5	5	無し	小計		15	15		効率性	費用便益比 (B/C)	1.0≦B/C<1.5	20	15	B/C=1.3	小計		20	15		熟度	用地取得の進捗状況	0%	3	0	0%	地元要望	有り	2	2	久慈市、葛巻町、関係団体ほか	小計		5	2		合計			100	78	
	評価指標		区分	配点	評点	備 考																																																																																																																														
必要性	車道等幅員	規定値-2m未満	5	5	6.5m<規定値-2m (7.5m)																																																																																																																															
	曲線半径	-10km/h規定値未満	5	4	80m<規定値 (100m)																																																																																																																															
	縦断勾配		5	0	3.8%≦規定値 (5%)																																																																																																																															
	歩道設置の必要性	該当なし	3	0	不要																																																																																																																															
	混雑度	1.0未満	2	0	混雑度0.36																																																																																																																															
	定時性	速度差10.0km/h以上	2	2	14.7km/h≧10.0km/h																																																																																																																															
	事故率	履歴なし	3	0	履歴なし																																																																																																																															
	過疎地域等の振興	過疎かつ山村振興地域	5	5	過疎、山村																																																																																																																															
	小計		30	16																																																																																																																																
重要性	ネットワークの位置付け	一般広域道路	15	15	一般広域道路																																																																																																																															
	産業振興、生活支援	6項目該当	15	15	物流支援、農業支援、観光支援、救急医療アクセス、公共施設アクセス、通園通学路の安全性向上																																																																																																																															
	小計		30	30																																																																																																																																
緊急性	関連事業の有無	有り	5	5	県北振興																																																																																																																															
	冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等	有り	5	5	防災点検要対策箇所																																																																																																																															
	部分供用の有無	-	-	-																																																																																																																																
	10km以内に迂回路	無し	5	5	無し																																																																																																																															
	小計		15	15																																																																																																																																
効率性	費用便益比 (B/C)	1.0≦B/C<1.5	20	15	B/C=1.3																																																																																																																															
	小計		20	15																																																																																																																																
熟度	用地取得の進捗状況	0%	3	0	0%																																																																																																																															
	地元要望	有り	2	2	久慈市、葛巻町、関係団体ほか																																																																																																																															
	小計		5	2																																																																																																																																
合計			100	78																																																																																																																																

○ 費用便益分析

費用便益分析手法： 道路建設課所管道路事業費用便益分析の手引き[令和8年4月]

基準年： R 8

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	改築費	11,538	
	維持費	151	
	総 費 用 (C)	11,689	
便益項目	時間短縮便益	14,053	
	走行経費減少便益	1,624	
	事故減少便益	6	
	3 便益 ①	15,683	
	環境改善便益	23	
	拡張便益	5,170	
	その他便益 ②	5,193	
	小計 (①+②)	20,876	
	修正便益 ③	18,157	
	総便益 (B) ①+②+③	39,033	
費用便益比(基本3便益) B(①)/C		1.3	
費用便益比(基本3便益+その他便益) B(①+②)/C		1.7	
(参考)修正費用便益比 B(①+②+③)/C		3.3	

参考 将来交通量 2,400 台/日 (R22)

※費用便益分析において地域特性等考慮すべき特記事項

・参考として、地域補正計数による修正便益を考慮したB/Cを算出している。

○ 関連する開発プロジェクト等の状況

なし

(3) コスト縮減対策の取り組み状況

- ・代替案を含めた比較検討により、最も経済的なルートを選定している。
- ・詳細設計において、将来的な維持管理を含めたライフサイクルコストの最小化に努めることとしている。

(4) 代替案の比較検討結果

比較検討の結果、浸水想定区域や防災点検要対策箇所等の通行危険箇所を回避し、距離短縮及び時間短縮効果が大きい現計画（トンネル案）が適当と判断したものである。

○トンネル案：浸水想定区域を回避し、距離短縮及び時間短縮にも優位な経路である。
(距離短縮：3 km 時間短縮：6分)

○現道活用優先案：浸水想定区域は現道の嵩上げで回避できるものの、豪雨時の土砂流出や急傾斜地からの落石等の災害リスクの懸念がある。

また、距離短縮・時間短縮効果は限定的であり、事業効果が劣る。
(距離短縮：2 km 時間短縮：5分)

(5) 事業規模の妥当性

- ・幅員狭小、線形不良区間を解消し、現道取付が可能な位置を起終点としている。
- ・代替案として考えられる事業手法の総合的な検討の結果、トンネル案が最も妥当であり、また、事業に関する指標及び費用便益分析の結果からも事業効果が確認できることから事業規模は妥当であると判断している。

総合評価

(1) 総合評価

対応方針案	事業実施	・	要検討	・	その他
-------	------	---	-----	---	-----

(事業名)地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型）

着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	事業に関する指標からみた評価点数	参考 B/C (修正 B/C)
9	19	17,000	78	1.3 (3.3)

○総合評価に係るコメント

【事業目的】

・本事業により、幅員狭小や線形不良区間、浸水想定区域等の課題を解消し、安全で円滑な交通機能の確保を図るものである。

【社会経済情勢等】

・重要港湾久慈港と内陸を結ぶ物流上重要な路線であり、「岩手県地域防災計画」における緊急輸送道路（第1次路線）として、平常時、災害時を問わない安定的な輸送の確保が求められる路線である。

・「いわて県民計画（2019～2028）」及び「岩手県国土強靱化地域計画」の政策目標に合致しており、災害に強い幹線道路の整備を推進するものである。

・久慈市、岩手町、葛巻町、野田村、国道281号整備促進期成同盟会等の関係団体から当該地区の整備について要望がある。

【自然環境等への配慮について】

・事業実施にあたっては、広域振興局の公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら、必要に応じて関係機関との協議や現地調査を行うなど、環境に配慮して事業を進めることとしている。

【事業計画の妥当性について】

・指標や費用便益分析の結果から事業効果が認められることや、代替案の比較検討結果から、事業計画が妥当であると判断したものである。

・以上のことから「事業実施」と評価したものである。

大規模公共事業 事前評価調書 (付表)

事業名	地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型)	補助 単独	担当部課名	県土整備部道路建設課
路線名等	一般国道 281号	地区名	こやせどうろ 小屋瀬道路	市町村 葛巻町

1 現在までの事業に係る経緯等

- ・令和5年度 道路現況調査
- ・令和6年度 道路概略設計
- ・令和7年度 道路予備設計

2 住民意見の状況及びこれに対する対応

- ・久慈市、岩手町、葛巻町、野田村、国道281号整備促進期成同盟会等の関係団体から当該地区の整備について要望があり、今後も引き続き道路整備を推進していくこととしている。
(近年の要望状況)
- 久慈市 令和7年8月25日
- 岩手町 令和7年8月1日
- 葛巻町 令和7年8月1日
- 野田村 令和7年8月25日
- 国道281号整備促進期成同盟会 令和7年7月22日
- 北岩手・北三陸横断道路整備促進期成同盟会 令和6年3月25日

3 環境対策の具体的内容

- ・有識者等の指導と助言のもと、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら事業を進める。
- 希少野生動植物の調査、必要に応じて移植等の対応
- 排ガス対策及び低騒音型建設機械の使用

4 費用便益分析の詳細(算定方法、算出根拠等)

○ 費用便益分析

費用便益分析手法: 道路建設課所管道路事業費用便益分析の手引き[令和8年4月]

基準年: R 8

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	改築費	11,538	
	維持費	151	
	総 費 用 (C)	11,689	
便益項目	時間短縮便益	14,053	
	走行経費減少便益	1,624	
	事故減少便益	6	
	3 便益 ①	15,683	
	環境改善便益	23	
	拡張便益	5,170	
	その他便益 ②	5,193	
	小計 (①+②)	20,876	
	修正便益 ③	18,157	
	総便益 (B) ①+②+③	39,033	
費用便益比(基本3便益) B(①)/C		1.3	
費用便益比(基本3便益+その他便益) B(①+②)/C		1.7	
(参考) 修正費用便益比 B(①+②+③)/C		3.3	

参考 将来交通量 2,400 台/日 (R22)

以下の項目については、いずれも基準年において現在価値化し便益を算出している。

① 改築費 : 道路建設に要する費用

② 維持費 : 供用開始後50年間に於ける維持管理費

③ 時間短縮便益 : 供用開始後50年間に得られる時間短縮における利益

④ 走行経費減少便益 : 供用開始後50年間に於ける燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費等の減少効果

⑤ 事故減少便益 : 供用開始後50年間に於いて、発生する恐れのある人身または物損事故などの公的損害や、事故により発生する交通渋滞における損失の減少効果

⑥ 環境改善便益 : 供用開始後50年間に於ける大気汚染、騒音及び地球温暖化に対する減少効果

⑦ 拡張便益 : 供用開始後50年間に於いて、走行時の快適性や救急医療施設へのアクセスの確保による緊急時の安心感などの効果

⑧ 修正便益 : 東京を基準 (1.0) とし、所得水準や物価水準といった地域間格差を考慮

5 代替案の検討内容

現道活用優先案と比較検討した結果、浸水想定区域や防災点検要対策箇所等の通行危険箇所を回避し、距離短縮及び時間短縮効果が大きい現計画 (トンネル案) が適当と判断したものである。

○トンネル案: 浸水想定区域等を回避し、距離短縮及び時間短縮にも優位な経路である。
(距離短縮: 3 km 時間短縮: 6 分)

○現道活用優先案: 浸水想定区域は現道の嵩上げで回避できるものの、豪雨時の土砂流出や落石等の懸念がある。
また、距離短縮・時間短縮効果はトンネル案に劣る。
(距離短縮: 2 km 時間短縮: 5 分)

令和 8 年度第 1 回大規模事業評価専門委員会（一般国道 281 号 小屋瀬道路
地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型）【事前評価】）の審議概要

質疑等の概要		
専門委員からの質疑等		事業担当課（道路建設課）の回答
①	費用便益分析のうち、拡張便益というのはどのようなものなのか。	岩手県が行う道路整備事業は補助事業は基本 3 便益（時間短縮便益、走行経費減少便益、事故減少便益）で B/C を算定している。それ以外に、岩手県の特性や実情に応じ、救命救急率向上や通行危険箇所の解消、大型車すれ違い困難の解消というような便益を拡張便益として設定し、基本 3 便益に加えて算定している。
②	この事業の主要な目的の一つに災害時のネットワーク確保というのがあるが、費用便益分析の中でどこに相当するのか。拡張便益の中に含まれているという理解でよいのか。	そのとおり。
③	修正便益について、東京都を基準として岩手県がその係数を恐らく地方差ということで一定の部分を上乗せしたような形で計算されていると理解している。今回の場合、181 億円の修正便益を加算しているが、その係数を教えていただきたい。また、何に対して掛けているのかを教えてください。	地域修正係数は広域振興圏ごとに設定している。葛巻町は県央広域振興圏であり、地域修正係数を 1.514 としている。地域修正便益は基本 3 便益に環境改善便益、拡張便益を合算した便益に、地域修正係数を掛け合わせ算出している。
④	③の回答を踏まえると修正便益の計算が合わないのではないか。計算過程を教えてください。	<u>今回説明（資料 No. 3）</u>
⑤	工事に関連する土地の所有者はだれか。	土地所有者は、事業化後に用地測量を行った後に調べることにしている。
⑥	本事業により様々な便益があるということを改めて感じたところ。その中で、大規模な道路整備に当たっては、拠点間を結ぶネットワークの充実がキーポイントではないかと思っている。東日本大震災津波後、復興事業として、県内の幹線道路の復興支援道路整備がなされたものと認識している。国道 281 号も幹線道路であり、復興支援道路として整備がなされたのではないかと思う。参考までにどのような場所でどの程度の整備がされたのか教えてください。	国道 281 号では、岩手町の大坊峠で大坊の 2 工区の整備を進めてきたところ。また、久慈市では下川井工区、案内工区の道路整備を進めてきたところ。葛巻町での整備は行っていない。
⑦	ネットワークの充実を目的とした大規模な道路整備は、基本的には 10 年あるいは 10 年以上かかるところもあると思うが、復興支援道路の整備では事業規模等の縛りはあったのか。	県の復興支援道路で活用した主に社会資本整備総合交付金（復興）等の復興事業の予算は、令和 2 年度までに予算措置されたもの。

⑧	代替案の比較検討に関して、現道活用優先案はトンネル案に比べて、事業効果が小さいという結論づけがなされているが、具体的な事業費の積算や、工期自体も同様なものなのか。時間的価値等も考慮し比較検討したという理解でよいのか。	代替案を含めて、距離短縮効果、時間短縮効果、全体事業費等を比較検討し、トンネル案が妥当と判断したもの。
⑨	代替案との比較検討における判断材料とした定量的な情報を次回以降提示してほしい。	第3回専門委員会 で説明
⑩	トンネル案の場合、現道はどうなるのか。生活道路のような形になるのか。	現道の沿線に民家等もあり、現道もこれまで通り利用できる。
⑪	トンネル案での事業実施後も現道を活用するのであれば、現道は浸水区域であったり落石の危険性があり、それに関するケアも必要と思うが、それはまた別事業で行うという理解で良いのか。	トンネル案を整備すれば、例えば、町中心部へ行く際に浸水想定区域を通過せずに済むこととなる。また、岩手町方向は浸水想定区域から外れているため、影響はないと考えている。
⑫	希少野生動植物が生息しているようだが、どのような動植物が確認されているのか、対応を今後どうすべきなのかということが分かれば教えて欲しい。	鳥類、植物、両生類の生息情報があることを確認している。事業を進めるにあたって、これらの希少種への対応については、広域振興局等で開催している検討委員会で対策を検討する。
⑬	本事業の評点は78点であるが、事業実施と判断する際の基準点を教えてほしい。	(政策企画課) 評点が60点を下回ると、基本的には事業化できない。